

読む人の幸せを心に願って作る

喜びの タネまき 新聞

No.584

かなやま湖畔のラベンダー畑〈北海道〉

南富良野町にある「かなやま湖畔鹿越園地ラベンダー園」では、7月中旬～下旬の見ごろになると丘の斜面から湖の畔にかけて約2万株のラベンダーが開花。森と湖を背景にラベンダーが楽しめる希少なスポットとして人気を集めています。



イラスト：欽崎 花鈴

※イラストはイメージです

日本では北海道だけで見られるエゾナキウサギ。体長は15cmほどで、標高の高い岩場などに生息しています



〈物事の捉え方〉

新聞等でもよく伝えられている通り、少子高齢化などによって一昔前と街の様相が変わり、市場環境も厳しくなっているとの話を多く見聞きます。

私はダスキンの加盟店を訪問してお店のオーナーをはじめ、そこで働く方々と対話をしており、先日は高齢化が進むある地域の加盟店の二代目オーナーとお話ししました。

そこでも同様の話が出ると思っていました。その方は「担当地域の人口は減っていますが、同じ環境下で活動されている他の加盟店は、当社の二倍のお客様とご縁を持たれています。私たちはお客様が快適に暮らせる提案がまだまだ不足しています。もっとお客様に寄り添い、信頼を得られればご縁が広がるはずです」と力強く話してくださいました。

人口が減り、「昔は良かった」「今後が不安」との話は業界を問わずよく聞きます。しかし、このオーナーのように見方を変えて常に前向きに行動することで、多くのアイデアが浮かんでくるのだと思います。

「環境や他人の考え方を考えるのは難しいが、自分の考えを変えることは出来る」と先輩から教わったことを思い出しました。

人生は順調な日々ばかりではなく、壁にぶつかって悩み、置かれている環境の責任にしようということもあります。しかし、物事の捉え方を見つめ直し、その時の環境や状況で「何が出来るのか」を考え、行動することが大切だと改めて教えていただきました。

株式会社ダスキンの社長

山村輝治

日本は
ひろいな
おいしいな



石川県加賀市 「NPO法人歴町センター大聖寺」 城下町の良さを 後世に伝える「流し舟」

昔ながらの風情が
いつばいの大聖寺

石川県加賀市の大聖寺地区は、加賀藩の支藩、大聖寺藩の城下町として栄えた町。今でも江戸時代の建物や町並み、寺院群などが残る静かな場所です。

しかし、住む人は「ここは石川の辺境の地」と、町の価値を気にも留めませんでした。そんな大聖寺の歴史的な価値が失われることに危機感を持ち、町並みの景観づくりに立ち上がったのが、NPO法人歴町センター大聖寺のメンバーです。かつての北国街道沿いに一里塚を復元したほか、江戸時代に作られた時刻を知らせる時鐘堂の再建や、史跡を利用したイベントなども実施。そんな活動を長年続け、今では住民も「大聖寺は後世に継承すべき、素晴らしい価値がある町だ」と意識を新たにしています。



北国街道沿いを巡り、子どもたちに大聖寺の歴史を教える活動も

「この活動は手弁当で休みもないけれど、大勢の人や子どもと出会う喜びがあり、自分たちも楽しい。商売目的ではないので、流し舟に乗りに来た人にも『いらっしやいませ』ではなく、『よ来たなあ』と自然体で迎えているんです。だから、たった45分の間に仲良くなる。最後は、また来てな、また来るねとお互いにいつまでも手を振っている。そして、みんな本当にまた来てくれる

その活動のシンボルとなっているのが、「大聖寺流し舟」です。昔ながらの姿のまま蛇行する旧大聖寺川を、ゆるゆると下る45分の船旅。春は見事な桜並木、初夏は山藤、秋の紅葉などが楽しめ、船をこぐ船頭さんが大聖寺の町や歴史のよもやま話を語ってくれます。この流し舟は、メンバーをまとめる瀬戸さんをはじめ有志の人々が、「みんなが楽しんでくれたら」「ふるさとに誇りを持てる子どもを育てたい」との熱意で、私財を投じて船を購入したのが始まりでした。

「大聖寺の人はみな優しい。見返りなどがなくても、互いを助け合う気質にあふれているんです。だからこの活動も30年後、50年後に孫やそのまた子ども世代から『昭和や平成の人はいい町を残してくれたな』と思ってもらえたらそれで十分」と、皆さんは笑って話します。

町の文化を楽しく
子どもたちに伝えたい

人が歩くよりゆっくりと進む船なので、気分もゆったり



歴町センター大聖寺では、住民が先生となり、町内の小学生を対象に「文化財レスキュー隊」の活動も行なっています。メンバーの篠原さんは学校の先生だった経験を生かし、子どもたちを連れて、大聖寺城跡の探検や町屋の見学を引率。子どもたちも、自分たちの町に關して初めて知ることばかりで興味津々です。また、かき餅作りや、昔の大聖寺の産業でもあった九谷焼の茶碗での大茶盛など、町の人と協力して、子どもたちが昔ながらの文化を体験・継承する機会を作っています。

「先祖から残されたものを、自分たちも楽しみながら大切に受け継ぐ。大聖寺ではそんな心意気にあふれた人たちが待っています。」

苦労話も笑って話してくれた瀬戸さん(右)はじめメンバーの皆さん



石川県の 郷土料理

えびす(べろべろ)の作り方



卵を溶き固めた寒天がべろべろのように見えることから「べろべろ」とも呼ばれ、おせち料理やお祭りなど祝いの席には欠かせない石川県の郷土料理。寒天の食感と卵の旨みが優しく口に広がる一品です。

- 材料(6人分)**
- 棒寒天.....1本
(粉寒天の場合は4g)
 - 水.....500cc
 - 卵.....1個
 - 針ショウガ.....少々
- <調味料>**
- 砂糖.....大さじ3.5
 - うすくち醤油.....大さじ1
 - こいくち醤油.....大さじ1
 - 塩.....少々

作り方を教えてくれた人



青木クッキングスクール
校長 青木 悦子さん

長年にわたって郷土料理の研究・継承に取り組む、金沢を代表する料理家。料理教室のほか、ラジオ出演、映画の料理監修など幅広く活躍中。伝統料理に新風を吹き込む新メニューも考案中。



- 洗って固く絞り、細かくちぎった棒寒天を2時間ほど分量の水に浸してから煮る。沸騰したら火を弱め、10分ほど煮溶かす。
- 調味料をすべて入れる。
- 卵を切るようにまぜてよく溶きほぐし、2〜3回に分けてそっと細く鍋に流し入れる。
- 卵が浮いてきたらアクを取り、最後に1mmほどの細さに切つて水で洗った針ショウガを加えたら火を止め、少し冷ます。
- 深さ3cm程度の容器に入れ、気泡が残らないよう箸で整え、水を張ったボウルで20分ほど冷やす。さらに冷蔵庫で1時間冷やせば完成。

えがおで暮らせば

第十二話

梅雨を楽しむ

元気をくれる植物たち

雨模様のお天気が続くこの時期は、気分までどんよりしがち。雨が降っていると外出も面倒ですが、実は私、梅雨の景色を眺めるのは結構好きなんです。

部屋に飾った植物たちも、しっとりとした空気の中でいきいきとして、いつもより葉の緑が映える気がします。見ているだけで元気をもらえますし、気持ちも明るくなりますよ。

できることを楽しんで

雨で外へ出られないのは、プラスに考えれば、家で楽しむ時間が増えるということ。家でできることを思いきり楽しめばいいんです。私の場合はミシンを使った縫い物が一番の楽しみです。よく作るのは自分のロングスカート。私はカットソーとロングスカートの組み合わせが好きなので、何枚あっても困りません。手芸店で好みの布を買っては定番の型紙で何枚も作っています。

孫ができてからは、幼稚園で使うバッグやエプロン、上履き入れ、巾着袋なども縫うようになりました。今では孫たちのほうから「ぼあば、スカート作って〜」などリクエストがあつたりして、さらに楽しみが増えましたね。私が作るのは時間のかかる大それたものではなく、すぐにできて家族に喜ばれるもの。楽しむかどうか「がポイントです。



お孫さんたちのために縫った坂井さんお手製の品々

しとんと降る雨を眺めながら、梅雨の楽しみ方を語ってくださった坂井より子さん。そこには、マイナスをプラスに変える前向きな発想がありました。



摘んできた草花がいきいきとする季節



リビングにある大きなメインテーブルをぜいたくに使って、縫い物を楽しむ

この時期だけの楽しみ

また、私には梅雨の楽しみがもう一つあります。それは、梅仕事。毎年6月になると庭の梅の木が実り始めますので、まずは青梅で梅味噌や梅シロップを作つて、あとは実が黄みがるまで待つてから梅干しの仕込みをします。梅雨が明けたら土用干しができるように下処理をしておくのです。梅干しは時



試行錯誤を経て今の塩加減に至ったという梅干し

縫い物や梅仕事をしない日は、読書をしたりテレビを観たりしてのんびり過ごすことも。また、私はこの時期に夏物を整理するんです。引き出しに規則正しく並んだ衣類を見ていると、夏が待ち遠しくなります。

梅雨は「夏の準備」の季節。今年の夏はどんな思い出が作れるかしらと思うと、なんだかワクワクしてきませんか。家族のため、ご自身のために「夏の準備」を楽しみましょう。夏はもうそこまで来ていますよ。

より子さんのノート

簡単でおいしい「梅味噌」



もろきゅうやドレッシング、焼き魚や炒め物などにも使える万能調味料の「梅味噌」は、坂井家で人気の一品。梅干しのように時間もかからず、青梅で作れるので、旬の味をいただけます。

【作り方】 (材料) 青梅・味噌・砂糖 各500g

- ① 爪楊枝などで青梅のへた(なり口)を取り除く。
- ② 深い鍋に①と味噌・砂糖を入れて中火にかけ、焦げないよう木べらでかきまぜる。フツフツしたら弱火にして、1時間ほど煮る。
- ③ 木べらですくい、ポタポタ落ちるぐらいのトロみがついたら種を取り除く(種は煮ているうちに自然に外れる)。
- ④ 保存は、煮沸消毒した保存瓶に入れて冷蔵庫で。約1年間保存できるので、年中活躍してくれます。



坂井より子さん

1946年生まれ。神奈川県葉山町在住。主婦歴40年の経験を生かした、やさしい家庭料理の伝授と暮らしの知恵を交えた語りが好評を博し、さまざまな世代の女性から人気を集める。近年、親子教室などで若いお母さんたちの支えとなる活動も行っている。著書に「受け継ぐ暮らし」「暮らしをつむぐ」(技術評論社)。

ほほえみのひろば



俳句

山口県下松市 野田智寿子さん

俳句の会へ入会して2年余り。俳友の皆さんは、どうしてこんなにお人柄が良く、豊かな感性の持ち主ばかりなのだろうと感心している。

目の手術のために、2週間ばかり入院した時のこと。お見舞状やお電話をいただいたり、わざわざ病室まで来ていただいたり、俳友たちがいてくれたことの有り難さが身に染みた。そして、退屈な入院生活を慰めてくれたのは、俳句を作ることだった。人生の後半に出会った「俳句」という魅力的な宝物。俳句の師や俳友たちへ感謝しつつ、ゴールの見えない俳句の道を歩み続けていきたい。

素敵なお友達と一緒に、これからも良い句をたくさん詠んでください。



孫の可愛いしぐさ

富山県滑川市 島田美和子さん

私には孫が3人います。いずれも男の子で、うちに来ては一緒に遊んで元気をもらっています。8歳の子は負けず嫌いで悔しがり、6歳の子も兄に負けじとわんぱくです。2歳の子は、とても可愛いしぐさをします。テーブルの上の料理をのぞきこんでは、ほっぺに両手を当てて「おいしそー」と言ったり、口に手を当てて大きい声で「ワハハハ」と笑ったり。そんな孫たちの姿にどれほど喜びをもらっているかわかりません。孫たちの成長を見ると、この子たちの将来を少しでも長く見ていたいと思わずにはいられません。

可愛らしいお孫さんの姿が目に見えます。



遠い昔の約束

大阪府八尾市 鬼崎直恵さん

先日、長男が結婚式を挙げました。指輪をはめている2人の姿を見て、10年程前のことを思い出しました。

長男が初任給で、私に「ルビーの指輪」をプレゼントしてくれました。彼が小学生の頃、当時流行していた曲に憧れて、私が「母さんも欲しいな！ルビーの指輪」と言ったところ、「ボクが買ってあげる！」と約束したことを覚えていてくれたのです。

幼い頃はヤンチャ坊主だった彼が立派になった姿を見て、改めて感慨にひたつた1日でした。神父さんに誓った言葉を生涯忘れず、可愛いお嫁さんを大切にしてください！

ルビーの指輪は、お母さんを大切に思う気持ちの証だったんですね。



おばあさんと猫

福島県二本松市 石川 征子さん

先日、自宅の前で驚きの光景を見ました。腰が曲がり杖をついたおばあさんが、猫と一緒に散歩をしていました。おばあさんが一休みすると、前を歩いてきた猫が振り返っておすわりをして待つのです。そして、再びおばあさんが歩き始めると、猫も先導するかのようになら歩き始めるのです。最初は偶然かと思って見ましたが、何度も繰り返していました。

猫にも飼主とともに行動する習性があるのか、それとも飼主と強い絆で結ばれているのか…。この光景を思い出すたびに胸が熱くなります。

なんて心温まる光景！おばあさんと猫の信頼関係が伝わってきますね。

燈々無尽

メイ・アイ・ヘルプ・ユウ

私は、何かをやりたい
じっとして、ただ
時がすぎてゆくのはたえがたい
二度と、ふたたびもどることのない
この人生
メイ・アイ・ヘルプ・ユウ？
何か、お手伝いすることは
ありませんか、と
愛をささげて
生きてゆきたい

鈴木清一

愛の輪からの「ミム」障がいのこと、はじめてませんか？



愛の輪は日本とアジアの地域社会のリーダーを目指す障がいのある若者に、海外での研修活動を行っています。

映像のバリアフリー

バリアフリーと聞くと、段差をなくすスロープなどを想像しがちですが、実はテレビ放送にもバリアフリーがあります。耳の不自由な人のために、セリフや効果音などの音声を文字で表示する字幕放送や、視覚に障がいのある人が番組内容をより理解できるように、出演者の表情や映像の説明を副音声によるナレーションで伝える解説放送などです。どちらも映像のバリアフリーとして、より多くの人がテレビ放送を楽しむのに役立っています。

このコーナーについてはダスキン愛の輪基金まで。
☎06-6821-5270 <http://www.ainowa.jp/>

あなたの声をお聞かせください！

より良い「喜びのタネまき新聞」を作るために、ご意見やご感想をお聞かせください。官製はがき 1 アンケートのご回答・2 お名前・3 性別・4 ご年齢・5 ご住所・6 電話番号・7 現在ご利用のダスキンの店名をご明記の上、下記の宛先までお送り願います。

200名様にプレゼント!!



宛先 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33 株式会社ダスキン広報部「喜びのタネまき新聞」編集室

応募締切 平成29年 8月31日(木) 消印有効

※プレゼント当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。(平成29年9月下旬発送予定)
※プレゼントの抽選結果に関するお問い合わせはお受けできませんので、予めご了承ください。

当てはまるもの全てをお選びください

Q1 「喜びのタネまき新聞」で、どのページがお好きですか？

A 表紙	B 日本はひろいな おいしいな	C 郷土料理のレシピ
D えがおで暮らせば	E ほほえみのひろば	F みてもらお!

Q2 表紙について

A 今のイラストがよい	B 写真の方がよい	C 美しい風景がよい
D ほのぼのした日常の1コマがよい	E オシャレなデザインがよい	F その他()

Q3 特集ページ(P2-3)で読んでみたい内容は？

A 人々の暮らしやストーリー	B 旅気分が味わえる旅行記	C 特産品にまつわる話
D お祭りなどの伝統文化	E 日本百景など景色の紹介	F その他()

Q4 お料理レシピ(P3)について

A 今の郷土料理がよい	B おやつがよい	C 有名な料理家のレシピがよい
D 世界の珍しい料理がよい	E 読むだけで、実際には作らない	F その他()

Q5 坂井より子さんの「えがおで暮らせば」(P4-5)について

A 共感できる・参考になる	B あまり読まない	C もっと有名な人がよい
D 坂井さんのレシピが知りたい	E 文章が長すぎる	F その他()

Q6 その他、何でもご自由にご意見・ご感想をお聞かせください

()

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】 お客様の個人情報はプレゼントの抽選及び賞品の発送に、アンケートのご回答は個人を特定しない形での統計情報として、今後の紙面制作に利用させていただきます。お預かりした個人情報はダスキンの範囲内でのみ利用させていただきます。個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止についてはダスキン「喜びのタネまき新聞」編集室TEL:06-6821-5007までご連絡ください。



あなたのお便りや写真をお寄せください。

みなさまからお送りいただいたお話をもとに新聞を作っています。

どうぞ、あなたが体験したうれしかったこと、誰かに聞いてもらいたいことなど、身近な話題をお寄せください。

送り先

〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33

株式会社ダスキン広報部

ダスキン「喜びのタネまき新聞」編集室

e-mail : koho4@mail.duskin.co.jp

投稿には、名前、年齢、職業、住所、電話番号、現在ご利用のダスキンの店名をお忘れなく。

- 紙面やホームページでご紹介させていただいた原稿や写真にはお礼をさせていただきます。
- お送りいただいた作品は、必ずご紹介できるとは限りません。また、作品のご返却は致しかねますのであらかじめご了承ください。

No.420からのバックナンバーが下記のアドレスからご覧になれます。

<http://www.duskin.co.jp/tanemaki/>

この新聞をお届けしているのは

みてもらおう!

読者のみなさまからお送りいただいた素敵な1枚をご紹介します。



お得な情報満載!
LINE@はもう登録しましたか?!

毎日をちょっと楽しくする情報をお届けします!
ぜひ友だち追加してみてくださいね!

LINE紹介ページへアクセス!!



株式会社 **ダスキン**

発行・編集：広報部 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】
お客様の個人情報は商品のお届けや回収、サービスの提供に利用させていただきます。また、後日商品やサービスのご案内をさせていただく場合があります。なお、お預かりした個人情報はダスキングループと加盟店の範囲内で利用させていただきます。配送業務等で個人情報を外部企業に委託する場合は、弊社の厳正な管理の下で実施します。
個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、下記ダスキンコールセンターまでご連絡ください。

■ダスキンコールセンター

0120-100100 www.duskin.co.jp